

シーズ名	睡眠の質を測る	分類： 9
所属 / 職 / 氏名	工学部 社会環境工学科 / 教授 / 大川井宏明	
キーワード	睡眠、睡眠深度、呼吸、福祉住居	

どんな技術？

一言アピール

睡眠によって健康を測る研究をしています。

- ①寝心地等の睡眠の状態を客観化します。
- ②医療ではない範囲で無呼吸やいびきの検討も可能です。

いま流行語といえば“サプリ”，“エアロビック”，“エンタ”，“行列”が挙げられます。健康サプリを飲み(食べ)，エアロビック教室へ通い，ストレス解消にエンタ(M-1 グランプリ等)を見て，その他身体にいいことなら何でも行列を作ってでも手に入れるという時代，健康のためには金も時間も使うという時代を反映しています。そこで，

- ① 一般庶民にとって重大な関心事である「健康」のチェック方法を研究しています。
- ② 睡眠時情報はとくに情報の宝庫です。睡眠時は理性，感情等が休息状態に入り，生命維持活動そのものを高い割合で表現する時間帯だからです。

- ・ 国際的に先端研究です。新しい生理学的情報を日々の研究活動で発見しています。
- ・ 身体にセンサーを取り付けません
- ・ マイクロフォンやビデオカメラは使いません。
- ・ 寝返りをうつこともトイレに起きることも自由です。毎日OKです。
- ・ 右図の岩手大学健康見守り実験ハウス，個人宅のいずれでも実験可能です。
- ・ データを集積した後は，次の応用のための根拠になります。
 - その人にとって日々の生活習慣や活動を見直す。
 - その人にとって生活環境が合うかどうかを見直す。室内環境等。

(以上の研究は医療ではないので応用は一般家庭向けです。)



何に使えるの？

福祉住居(生活環境等についての設計や良否の判断)．睡眠に係わる用具．生活習慣の確認．健康に関わる用具，サービス等の効果確認。

関連特許	
関連資料等	研究室 http://www.cande.iwate-u.ac.jp/okawai_lab/